

NPO法人 御堂筋・長堀21世紀の会

団体概要

NPO法人 御堂筋・長堀21世紀の会は、長堀・心斎橋・南船場地域の様々な企業・商店を中心に1982年結成後、2001年にNPO法人化し、現在約150の企業や個人で組織されているクリエイティブな団体です。

御堂筋や長堀通を軸とした沿道まちづくりの活性化や道路空間の賑わいづくりを目的として、街づくり提言活動、イベント運営、環境保全(不法駐輪、放置看板)美化清掃、親睦・交流等の活動を行っています。

提案：“ひと”のための道に“再編”する3つの施策

A.『シンボルゾーン』を構築

・4.2kmと長区間に伸びる御堂筋に重点エリア(3か所)を定め、世界からの観光客に向けてのインフォメーション、街中で憩える空間の構築、エリアの情報を発信

B.『御堂筋サポーターズクラブ』

・公民連携による広域的なまちづくり・道づくり応援システムを構築する。
・御堂筋のハード改善、ソフト実現へ向けて著名人や一般市民による応援団組織の構築

C.『特区』の導入による早期の側道開放

・側道を閉鎖することにより生み出したエリアマネジメントの環境を、主体者として活用

提案：おしゃれな大人の散歩まち ～世界に誇るブランドストリートに～



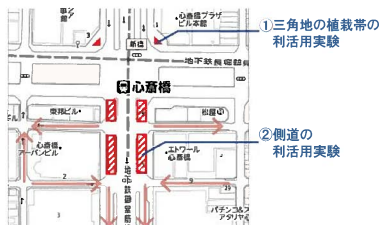
■緩側車線の歩行空間化により、街中へ憩いの空間を創出



■シンボルゾーンの構築
(世界からの観光客に向けてインフォメーション等を設置)

可視化実験：80周年記念事業

上質な御堂筋を象徴する、オフィスとスーパーブランドショップ前の新橋交差点および側道において、シンボル空間や賑わい・滞留環境を創出するとともに、継続的な利活用や運営のための検証を行います。



①三角地の植栽帯の利活用実験(検討中)

- ・新橋交差点三角地の植栽帯へのインフォメーションセンター設置による、インバウンド対応やトイレなどの案内
- ・御堂筋の上質な大阪の都市格をイメージさせる設え
- ・エリアマネジメント活動による公物管理の運営管理・収益性の検証
- ・大阪万博誘致のプロモーション情報発信



【現況】



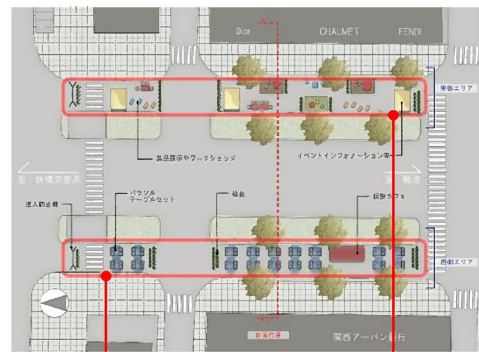
【インフォメーション&ショップ】



【デジタルサイネージ】

②側道の利活用実験(2~3ヶ月間)(検討中)

- ・側道(緩側車線)における、オープンカフェや企業による企画イベント
- ・カフェ、側道活用イベントの実施による運営管理と収益性の検証
- ・側道利活用時の管理運営方法の(安全対策、交通利便性など)の検証
- ・沿道地権者へのBIDによるまちづくりの可視化や効果の検証



【オープンカフェ】



【企業による企画イベント】(大丸有・仲通り)